

こんごうかいだいにちによらいざぞう
「金剛界大日如来坐像」

松伏町指定有形文化財（彫刻）
昭和50年6月1日指定

ほうしゅいん たなか けいちょう
宝珠院（田中）は慶長2年（1597）創建と伝わる真言宗の寺院で、この
こんごうかいだいにちによらいざぞう
金剛界大日如来坐像を本尊とします。本像は中世末期から江戸初期の作と推定
されており、よせぎつくり ぎよくがん しつぱく
寄木造、玉眼、漆箔仕上げ（後補）で、像高は62.8cmを測りま
す。精緻な透かし彫りが施された船形光背、台座も制作当初のもので貴重です。

